

市役所現庁舎跡地を活用したにぎわいの創出に向けて —官民連携モデル形成支援事業に北陸地方では初の採択

市役所現庁舎跡地の活用に向けて、国土交通省が募集を行っていた「官民連携モデル形成支援事業」に柏崎市の提案が採択されました。

採択を受け、市では国土交通省の支援の下、中心市街地のにぎわい創出に向けた市役所現庁舎跡地の活用について、官民連携の可能性調査を進めます。

1 官民連携モデル形成支援事業の概要

人口 20 万人未満の地方公共団体での官民連携事業のモデルを形成し、全国に展開するため、地域課題の確認から事業化に至るまでの間、国が支援するものです。

平成 30（2018）年度に創設された事業で 2 年目を迎えています。

2 柏崎市の採択内容「市役所現庁舎跡地を活用した官民連携事業調査」

駅前への市役所機能の移転に伴い、中心市街地に位置する現庁舎跡地の利活用をにぎわいの創出の場とすることを目指し、国や県も含めた官民連携の可能性、手法などの調査を実施します。

3 国の支援内容

内容：国がコンサルタントを活用し、必要となる調査・検討から事業化に至るまでの支援をします。

期間：令和元（2019）～3（2021）年度の 2～3 年程度の支援を予定

4 応募状況

- (1) 応募 10 件
- (2) 採択 2 件（柏崎市のほか、山口県周南市）

—参考（新庁舎建設の進捗状況）—



大型クレーンが 2 台搬入され、基礎工事を進めています。工事の進捗率は約 15%です。

これから夏場にかけて、鉄筋工事、コンクリート工事、そして免震工事を進めていきます。

9 月 7 日（土曜日）には、工事見学会を計画しています。広報かしわざき 7 月号で参加者を募集します。